



ナマズの知恵袋

令和5年(2023年)4月1日
編集・発行 滋賀県立図書館

～文化財について調べる～



滋賀県は全国でも有数の「文化財保有県」です。最近では、世界遺産登録に向けて活動をしている彦根城が注目されています。そこで今回は、「文化財」を調べるときに役立つ資料をご紹介します。

パート1 滋賀県の文化財を調べるには?・・・ある日のレファレンスから

(質問) 大津にある住友活機園という施設について図面が掲載された資料や設計者の名前が知りたい。おそらく文化財であったように思う。

【① そもそも文化財って何? : 滋賀県の文化財入門書】

『本当はスゴイ! 滋賀の文化財』 滋賀県文化財保護課 // 監修 サンライズ出版 2021年【S-7000-21】

➔ 住友活機園について : 記述そのものではありませんが、施設は「有形文化財: 建造物」という区分にあたることからわかります。

【② 本当に登録されている? : 滋賀県の登録文化財一覧】

[滋賀県]文化財目録 [滋賀県文化スポーツ部]文化財保護課 有形文化財(建造物)(令和4年4月1日現在) (PDF: 675 KB) <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/bunakasports/bunkazaihogo/315856.html> (2023年3月1日確認)

●文化財保護法にもとづいて国が指定した文化財および滋賀県文化財保護条例にもとづいて滋賀県が指定した文化財で、県内に所在するものを収録しています。

○建物の情報、修理報告書の有無のほか、登録の名称が、旧伊庭家住宅(住友活機園)であること、洋館・和館など多くの建築で構成される施設であることがわかりましたが、設計者の記載はありません。

【③ 調査された? 図面はある? : 調査報告書その①】

『滋賀県の近代化遺産 滋賀県近代化遺産(建造物等)総合調査報告書』 滋賀県教育委員会 // 編・刊 2000年【5B-5100-00】

●平成10・11年度に実態把握を目的に実施されました。一部の建物は現地調査による図面が掲載されています。

○住友活機園の和洋館あわせた1階の平面図が掲載されています。

○洋館は木造2階建て・設計者は野口孫一、和館が木造平屋建て・設計者は八木甚兵衛ということがわかります。

※参考文献で紹介されている『野口博士建築図集』日高胖 // 編・刊 大正9年 は、国立国会図書館デジタルコレクションで閲覧可能です。国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/966775> (2023年3月4日確認)

【④ 調査された? 図面はある? : 調査報告書その②】

『滋賀県近代建築調査報告書 平成元年度』 滋賀県教育委員会 // 編・刊 1990年3月【5-5200-89】

●昭和62年度から3か年かけて、保存計画策定を目的に実施されました。一部の建物は現地調査による図面が掲載されています。

○洋館の1階および2階の平面図および様々な場所から撮影した写真8枚が掲載されています。

【⑤ 記事になっていないか? : 郷土資料として収集した雑誌】

『日本の美術 第450号』(西和彦 // 執筆・編集 至文堂 2003年11月)【S-5211-03】 ※「日本の美術」は一般雑誌もあり。

●「近代和風建築」という特集が生まれ、近代和風建築の説明やその事例17件が紹介されています。

○当館蔵書検索システムで「住友活機園」と検索すると、郷土資料として『日本の美術 第450号』がヒットします。

事例17件のうち、滋賀県に関わる「住友活機園」「蘆花浅水荘」の語をデータ入力しているためです。

○和洋館あわせた1階の平面図が掲載されています。 ○前景と室内写真2枚が掲載されています。

【⑥ 記事にはなっていないか？:新聞】

●当館で1983年4月から作成・提供する「滋賀県関係新聞記事見出し検索」で「住友活機園」とひくと関係記事が29件ヒットします。https://www.shiga-pref-library.jp/wo/si_search/search/ (2023年3月9日確認)

※本文は、マイクロフィルムや新聞DB(朝日・読売・中日・日経)で確認いただけます(当館内でのみ利用可能です)。

パート2 日本全国の文化財を調べるには？

文化財とは？・・・今日まで守り伝えられてきた貴重な国民的財産です。文化財保護法により保存・活用されます。

『文化財保護関係法令集 第4次改訂版』文化財保護法研究会 // 監修 ぎょうせい 2022年 【R-7091-7】

『文化財用語辞典 改訂増補』京都府文化財保護基金 // 編 淡交社 1989年 【R-7091-キ】

『文化財科学の事典』馬淵久夫 // [ほか]編 朝倉書店 2003年 【R-7090-マ】

●文化財の研究・保存・修復にかかわる文化財科学の分野について解説しています。

雑誌「文化財」文化庁監修 第一法規出版

●新しく指定された文化財の解説や各地の文化財の紹介など、文化財についての情報を知ることができます。

国宝とは？・・・文化財保護法にもとづいて国が指定する「重要文化財」のうち、国の宝とすべきものとされます。

『国宝事典 第4版』便利堂 2019年 【R-7091-コ】

●2019年11月1日現在で国宝に指定されている美術工芸品および建造物1115件の全件を解説しています。

『国宝大事典 1 絵画』講談社 1985年 【R-7091-1】 ※全5巻(2巻・彫刻、3巻・書跡・典籍、4巻・工芸・考古、5巻・建造物)

●1985年4月20日現在で国宝に指定されている絵画全件の図版とその解説を掲載しています。

『美術作品レファレンス事典 国宝・重文篇』日外アソシエーツ株式会社 // 編・刊 2009年 【R-7031-ニ】

●主要な美術全集1270冊に掲載されている美術作品35030点の図版索引で、作品名・分野・指定区分から検索できます。

『国宝・重要文化財よみかた辞典』日外アソシエーツ株式会社 // 編・刊 2009年 【R-7091-ニ】

●国宝・重要文化財の難読な名称、通称、別称を収録しています。読みがわからない漢字でも絵画数で検索できます。

『国宝への旅 別巻 国宝全ガイド』日本放送出版協会 // 編・刊 1999年 【G-7091-9】 ※『国宝への旅』1巻~8巻あり。

●1999年2月現在で国宝に指定されている1050件を都道府県別・所蔵(保管)先ごとにまとめた鑑賞ガイドです。

『47都道府県・国宝/重要文化財百科』森本和男 // 著 丸善出版 2018年 【G-7091-エ】

●第1部では国宝・重要文化財の基礎知識、第2部では47都道府県の特徴を解説しています。巻末には、都道府県別所有数リストがついています。

日本全国にどんな文化財があるの？・・・データベースを使って調べることができます。

◆国指定文化財等データベース(文化庁) (<https://kunishitei.bunka.go.jp/>) (2023年3月21日確認)

国が指定・登録・選定した文化財について、名称・分類・都道府県・位置情報で検索できるほか、条件指定なしでも文化財分類ごとに分類別・都道府県別で調べることもできます。

◆文化遺産オンライン(文化庁) (<https://bunka.nii.ac.jp/>) (2023年3月21日確認)

文化遺産についてのポータルサイト。国が指定、選定、登録した文化財に関する情報や参加館から提供された文化遺産に関する情報がまとめて検索できます。作品名、分野、所在地、時代のほか画像の条件を選択することもできます。

◆文化財総覧 WebGIS(奈良文化財研究所) (<https://heritagemap.nabunken.go.jp/>) (2023年3月21日確認)

全国の遺跡や建造物などの文化財に関するデータが地図上に表示され、電子公開されている報告書を閲覧することもできます。

◆ジャパンサーチ(デジタルアーカイブジャパン推進委員会及び美術情報委員会) (<https://jpsearch.go.jp/csearch/jps-cross>)

(2023年3月21日確認) 文化遺産オンラインほか、さまざまなデジタルアーカイブをまとめて検索できます。

◆ColBase(国立文化財機構) (<https://colbase.nich.go.jp/?locale=ja>) (2023年3月21日確認)

東京、京都、奈良、九州の国立博物館と奈良文化財研究所が所蔵する作品を検索できます。

◆所蔵作品総合目録検索システム(国立美術館) (<https://search.artmuseums.go.jp/>) (2023年3月21日確認)

5つの国立美術館(東京国立近代、国立工芸、京都国立近代、国立西洋、国立国際)の所蔵作品を検索できます。